

「県民の日学校ホリデー」に豊橋田原ごみ処理施設建設工事 体験型現場見学会を開催します！

現在進めている、豊橋田原ごみ処理施設整備・運営事業建設工事において、新たなごみ処理施設の整備について広く知ってもらうため、建設現場の見学と建設工事の職業体験を兼ねた体験型現場見学会を開催します。

日 時 令和 7 年 11 月 21 日（金）13 時 30 分～15 時 30 分
 場 所 豊橋市資源化センター（豊橋市豊栄町字西 530 番地）
 対 象 小学 4 年生～中学生と保護者（市外の方も申込可）
 定 員 40 名程度（抽選、結果は 11 月 10 日（月）までに当選者へ通知）
 ※申込多数の場合は、豊橋市・田原市の方を優先
 申込み 令和 7 年 10 月 31 日（金）までにホームページで必要事項を入力

★参加者募集★



申込みフォーム

ポイント① めったに見られないごみ処理施設の建設工事を見学できる！

工事着手以降、初となる子供が参加できる見学会です。めったに見られないごみ処理施設の建設現場の見学を通して、ごみ処理について様々な視点で関心を持ってもらいます。

ポイント② 職業体験を兼ねた見学会を県民の日学校ホリデーに開催！

実際の工事で行う足場組立や左官塗りなどの職業体験を兼ねた見学会を、豊橋市と田原市の公立学校の休業日となる「県民の日学校ホリデー」に行います。



豊橋田原ごみ処理施設整備・運営事業建設工事 概要

受 注 者 日鉄エンジニアリング・大林組・神野建設特定建設工事共同企業体
 工事期間 令和 4 年 9 月 30 日から令和 13 年 8 月 31 日まで
 契約金額 41,970,500,000 円（運営業務委託費[20 年間]を含めた総額 68,576,200,000 円）

豊橋田原ごみ処理施設の工事状況や最新情報はここから ⇒⇒⇒



建設工事の QRコード



豊橋市環境部公式
アカウント『つなかん』

◎当日の取材を希望される方は、11 月 19 日（水）までに問合先までご連絡ください。

問合先 環境部 施設建設室 室長補佐 木村（電話 0532-38-0777）

工事に関して

■環境対策

- ・周辺環境への影響をあらかじめ調査・予測・評価した環境影響評価書（環境アセスメント）の内容を遵守し、環境負荷の低減に努めます。
- ・低騒音・低振動型の建設機械を採用し、建設公害対策に配慮します。
- ・アスベストの除去、ダイオキシン類の除染は、定められた手順に従い、区画・密閉養生を行うなど、飛散防止対策を実施します。



■安全対策

- ・交通誘導員を適宜配置して、通行者および施設利用者の安全を確保します。
- ・施設稼働と解体・建設工事の両方が安全で円滑に業務を行えるように、「エリア分離」と「動線明確化」を基本とします。

■地域経済

- ・資材調達や施工に地元企業を積極的に活用し、地域経済発展への寄与に努めます。

スケジュール

年度	令和 4 2022	令和 5 2023	令和 6 2024	令和 7 2025	令和 8 2026	令和 9 2027	令和 10 2028	令和 11 2029	令和 12 2030	令和 13 2031
		第1期工事					第2期工事			
準備工事										
ごみ焼却施設建設工事										
管理棟建設工事										
解体工事（既設東工場棟）										
豊橋市単独施設建設工事										

施設案内



拡大図



問い合わせ先

豊橋市環境部施設建設室
〒441-3125 愛知県豊橋市豊栄町字西 530
Tel 0532-38-0777
shisetsukensetsu@city.toyohashi.lg.jp



建設工事ホームページ

設計・施工 日鉄エンジニアリング・大林組・神野建設特定建設工事共同企業体

豊橋田原ごみ処理施設 整備・運営事業建設工事



※本パースは完成イメージであり、
細部について実際と異なる場合があります。

豊橋市・田原市

日鉄エンジニアリング・大林組・神野建設特定建設工事共同企業体

工事概要

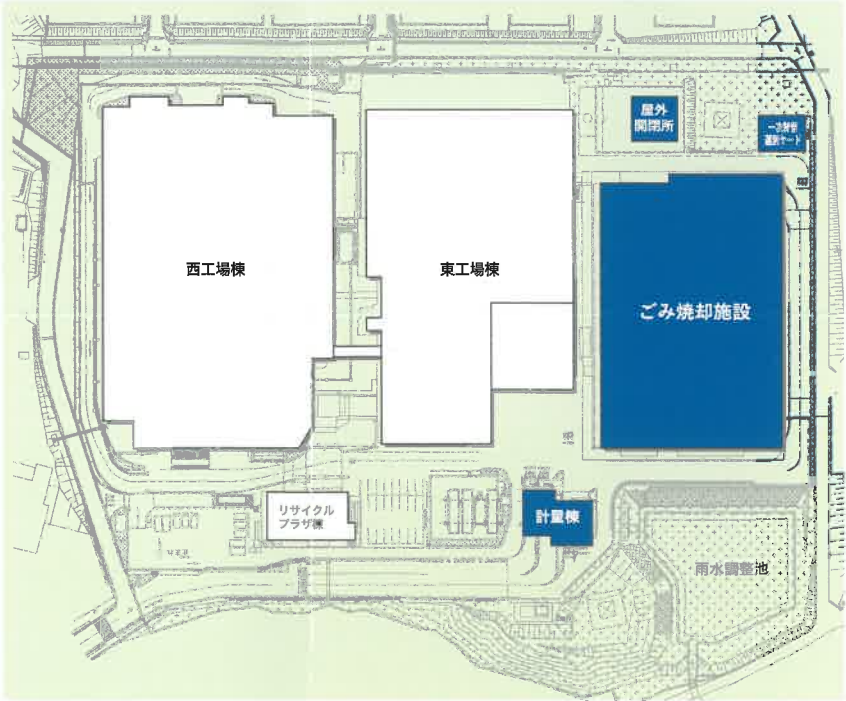
豊橋市・田原市は、ごみの減量やリサイクル、適正処理に積極的に取り組み、安心して暮らすことができるまち「豊橋田原」をともに目指し、将来の世代に向けて引き継いでいくことを基本理念として新たなごみ焼却施設、リサイクル施設の整備を進めています。

本工事は、第1期工事として、ごみ焼却施設建設工事に着手し、第2期工事として豊橋市単独施設・管理棟の建設工事を行います。

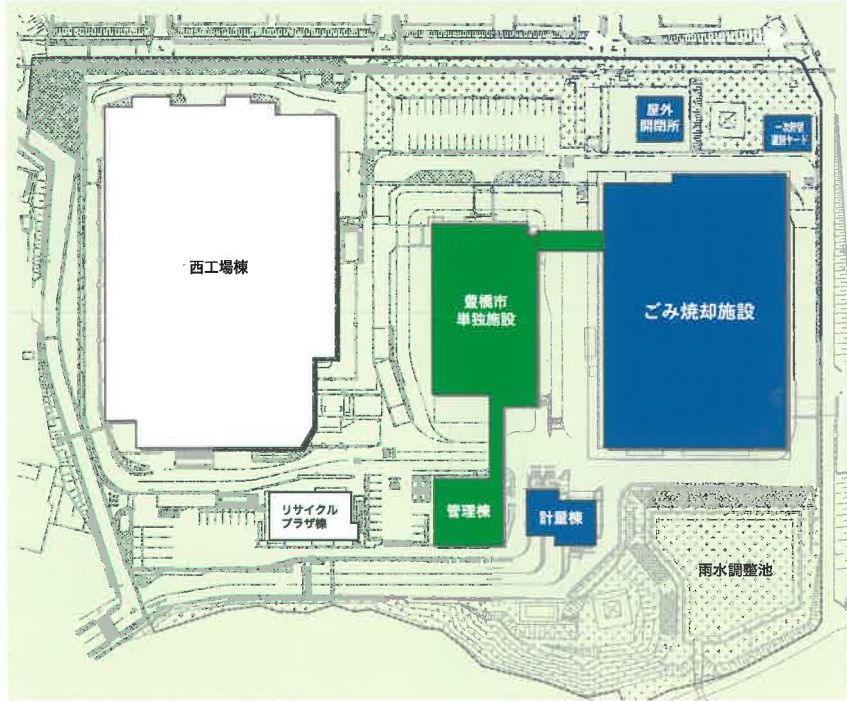
工事名称	豊橋田原ごみ処理施設整備・運営事業建設工事
建設場所	豊橋市豊栄町地内
第1期工事	令和4年9月～令和10年3月 ・準備工事 ・ごみ焼却施設建設工事
第2期工事	令和10年4月～令和13年8月 ・解体工事（既設東工場棟） ・管理棟建設工事 ・豊橋市単独施設建設工事

施設配置図

第1期工事完成後（令和10年3月）



第2期工事完成後（令和13年8月）

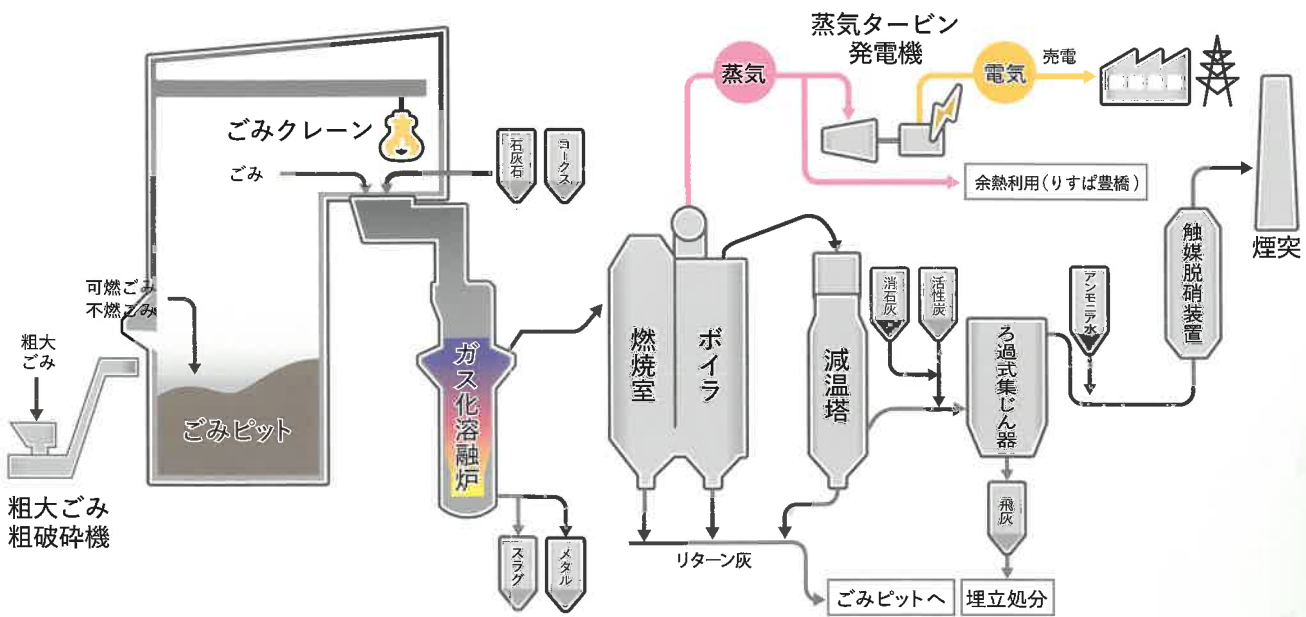


施設概要

ごみ焼却施設	
処理方式	シャフト式ガス化熔融炉
施設規模	417t/日 (208.5t/24h×2炉)
処理対象物	可燃ごみ、不燃ごみ、破碎残さ、リサイクル残さ、その他
破碎設備	粗大ごみ粗破碎機
受入供給設備	ごみピット、ごみクレーン
燃烧熔融設備	ガス化熔融炉
燃烧ガス冷却設備	燃烧室、ボイラ
排ガス処理設備	減温塔、ろ過式集じん器、触媒脱硝装置
余熱利用設備	蒸気タービン発電機 (14,600kW)

豊橋市単独施設	
受入選別設備	家庭持込ごみ受入選別
危険ごみ処理設備	スプレー缶処理機、半自動蛍光管破碎機
剪定枝等処理設備	剪定枝等破碎機、剪定枝等膨潤設備

ごみ処理フロー



施設の特徴

ごみ焼却施設は、高い安定稼働性と耐久性を有するシャフト炉を施設の中核機能として採用します。粗大ごみの処理は、ごみ焼却施設と一体的に整備することにより、コンパクトな処理施設とします。

災害ごみへの 高い対応性	エネルギーの 有効活用	スラグ・ メタルの 全量資源化	
最終処分量の 削減	温室効果 ガス排出量の 抑制	周辺環境の 保全と 環境学習	地域経済 への貢献

排ガス処理基準		
項目	排ガス設計基準	規制値
ばいじん	0.01g/Nm³ 以下	0.04g/Nm³ 以下
塩化水素	65ppm 以下	430ppm 以下
硫黄酸化物	20ppm 以下	1,200ppm 以下
窒素酸化物	50ppm 以下	250ppm 以下
一酸化炭素	30ppm 以下 (4時間移動平均値)	30ppm 以下 (4時間移動平均値)
ダイオキシン類	0.01ng-TEQ/Nm³ 以下	0.1ng-TEQ/Nm³ 以下
水銀濃度	30μg/Nm³ 以下	30μg/Nm³ 以下

(乾きガス、O₂12% 換算値)